平成　　年度　長崎市社会福祉協議会　　　　　　支部

**参考例示**

事　業　計　画　書

**重　点　目　標**

1. 支部組織強化と理解促進

支部活動を住民とともに展開していくためには、充分な啓蒙と具体的な活動目的が必要である。そのために支部の充実強化を図り、各方面に周知徹底していく。

1. ボランティア発掘と活動の推進

支部活動の原動力はボランティアである。活動が具体的になるほど住民のボランティア活動への参加が望まれるため強力に推進していく。

３．「高齢者をひとりぼっちにしない運動」の推進

老齢化社会が進行していくなかで、ひとり暮らし高齢者、寝たきり高齢者は増加の一途をたどっている。支部では「高齢者をひとりぼっちにしない運動」をスローガンにして高齢者福祉活動を展開していく。

**月　別　活　動　計　画**

|  |  |
| --- | --- |
| ４月 | 理事会・評議員会開催　決算及び事業計画　自主財源の確保について検討 |
| ５月 | ボランティア発掘　全戸にＰＲ　各団体に呼びかけ  「高齢者をひとりぼっちにしない運動」の具体的活動の検討 |
| ７月 | 支部役員研修会　ボランティア講習会 |
| ９月 | 独居高齢者・寝たきり高齢者のニーズ調査の実施 |
| １０月 | 共同募金運動に協力 |
| １２月 | 歳末たすけあい運動の展開 |
| 通　年 | ボランティア発掘と活動の展開  地域住民へ社協支部のＰＲをしていく  「高齢者をひとりぼっちにしない運動」の推進   * 高齢者ふれあい食事サービスの展開　・愛の一声運動の展開 * 高齢者介護の講習会開催 |